



展覧会

響きあう絵画 宮城県美術館コレクション カンディンスキー、高橋由一から具体まで

このたび、久留米市美術館では、宮城県美術館の代表的なコレクションを紹介する「響きあう絵画 宮城県美術館コレクション カンディンスキー、高橋由一から具体まで」を開催いたします。

日本の近現代美術、ドイツ近代美術、そしてエッセイ「きまぐれ美術館」で知られるコレクター洲之内徹が最後まで手放さなかった「洲之内コレクション」など、約 7,000 点に及ぶ国内有数の優れたコレクションで知られる宮城県美術館。同館のリニューアル工事に伴う休館を機に実現することとなった本展では、特色ある作品群の中からハイライトとなる 74 点の作品を紹介します。個性豊かな作品群が、遠く離れた久留米の地で織りなす交響をお楽しみいただければ幸いです。

展覧会名	響きあう絵画 宮城県美術館コレクション カンディンスキー、高橋由一から具体まで
会期	2025年2月8日(土)～5月11日(日) 月曜休館(2月24日、5月5日は開館)
作品数	74点
会場	久留米市美術館
主催	久留米市美術館、宮城県美術館、朝日新聞社、西日本新聞社、テレビ西日本
協力	カトーレック株式会社
後援	久留米市教育委員会
スペシャル パートナー	株式会社ブリヂストン
オフィシャル パートナー	学校法人久留米大学、株式会社筑邦銀行、株式会社森光商店、喜多村石油株式会社、株式会社ユー・エス・イー
入館料	一般 1,000 円 (800 円)、シニア 700 円 (500 円)、大学生 500 円 (300 円)、 高校生以下無料 ※石橋正二郎記念館もご覧いただけます ・障害者手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は無料となります ・() 内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上
開館時間	10:00-17:00 (入館は 16:30 まで)
交通案内	JR 博多駅より JR 久留米駅まで新幹線で 20 分、在来線快速で 40 分 福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で 30 分、急行で 40 分
本展に関する お問い合わせ	久留米市美術館 (公益財団法人久留米文化振興会) 担当: 森智志、井須圭太郎 〒839-0862 福岡県久留米市野中町 1015 (石橋文化センター内) TEL0942-39-1131 / FAX0942-39-3134 https://www.ishibashi-bunka.jp/kcam/

※開催情報に変更がありました場合には、随時、当館ホームページ、SNS 等によりお知らせいたします。



展覧会の見どころ

高橋由一からはじまる日本近代洋画

《宮城県庁門前図》は、高橋由一が宮城県庁から依頼を受けて 1881 年に描いた作品です。それからちょうど 100 年後に開館した宮城県美術館は、この作品をコレクションの礎としながら、萬鉄五郎や松本竣介といった東北ゆかりの画家たちを中心に、日本近代洋画の充実したコレクションを形成しています。



1.高橋由一《宮城県庁門前図》
1881年



2.松本竣介《画家の像》
1941年



3.萬鉄五郎《風景・春》
1912年 洲之内コレクション

カンディンスキー、そしてドイツ表現主義

宮城県美術館の西洋美術コレクションは、カンディンスキーの素描 17 点との出会いからはじまりました。その後、現在では美術館の顔ともなっている《カーニバル・冬》が加わり、さらにクレーやペヒシュタインなどの油彩画、そしてユーゲント・シュティールや表現主義者たちの重要な表現手段である版画作品などを収集。国内でも有数のドイツ近代美術コレクションとなっています。



4.パウル・クレー《力学値のつりあい》
1935年



5.ヴァシリー・カンディンスキー
《「E.R.キャンベルのための壁画 No.4」
の習作（カーニバル・冬）》1914年



6.ヘルマン・マックス・ペヒシュタイン
《パイプ煙草を吸う漁師》1909年



洲之内コレクション

「一枚の絵を心（しん）から欲しいと思う以上に、その絵についての完全な批評があるだろうか」と語った美術コレクター、洲之内徹。画商でありながら気に入った絵を人手に渡すことを嫌って自ら愛蔵することもあった彼が最後まで手放さなかった作品群は「洲之内コレクション」と呼ばれ、現在は宮城県美術館に収蔵されています。



7. 巖光《鳥》1942年頃
洲之内コレクション



8. 海老原喜之助
《ポアソニエール》1935年
洲之内コレクション



9. 長谷川潁二郎《猫》
1966年 洲之内コレクション

戦後美術の展開

宮城県美術館は、日本近代洋画や西洋美術だけでなく、戦後美術の収集にも早くから目を向けており、開館前には当時の現代美術をまとめて収集しています。そして、東北の美術館でありながら、関西を活動拠点とした「具体美術協会」の作品が充実しているのも同館のユニークなポイントです。



10. 中村宏《階段にて》1959-60年



11. 元永定正《作品》1964年
©Motonaga Archive Research
Institution Ltd.



12. 桂ゆき《婦人の日》
1953年



関連イベントのご案内

美術講座

「宮城県美術館コレクションから 一絵画のこぼれ話」

講師：濱崎礼二氏（宮城県美術館 副館長）

5月11日（日）14:00-15:30

会場：美術館1階 多目的ルーム

定員：50名（申込不要、先着順）

ギャラリートーク

担当学芸員によるギャラリートーク

2月22日（土）、3月29日（土） 14:00-14:45

集合場所：美術館2階エントランス

当館学芸員によるギャラリートーク

第1・3日曜日 14:00-14:20

集合場所：美術館2階エントランス

サポートボランティアによるギャラリートーク

第2・4土曜日（2月22日を除く）14:00-14:20

集合場所：美術館2階エントランス

キッズ・ファーストデー

子どもから大人まで楽しい雰囲気の中で作品を一緒に見てみましょう。

日時：3月26日（水）、5月5日（月・祝） 10:00-17:00

作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. web ページ掲載の場合は、必ずコピーガードの処理をお願いします。
6. 広報用作品以外の画像をご希望の場合は、申込書の「その他」の欄にタイトルを記入してください。
7. 掲載見本を必ず1部お送りください。